



THE LETTER 宇都宮東教室

第3号 自学

発刊日 2025年9月16日

文責 熊澤洋一

1学期期末テストが終了しました。生徒面談を実施、「できた」「できない」の声が当然聞こえてくるわけで。爆上げ達成、自己ベスト更新、最高得点更新と結果を出している生徒からは「やる気」が出ます、と聞こえる一方で、苦手科目の低迷で水平飛行の生徒も・・・「次頑張ります」。「頑張ります」のセリフは飽きるほど聞いてきました。が、実行できた生徒が何名いたことか。圧倒的多数、苦手科目「英語」。

成績の改善に最も「時間を要する」、または「難しい」と言われる「教科」が英語です。英検準1級だの2級持っていますという生徒は「教科書単語」の復習程度で済むことも多いでしょうが、特に「定期テスト」のように試験範囲が決められている場合、それ以前の学習内容が「理解できていなくても」それなりの点数を取る生徒も多数散見できます。しかし、実は目の前のテストを凌いでいるだけで、「実力系テスト」ではことごとく振り返ちにされているのが現状です。例えば「英作文」ひとつに着目しても、「模範解答」はあくまでも解答の「一例」であり、絶対ではありません。自分の答案の正誤判定を「自分自身で判断できるのか」。単語、スペル、文法、表現・・・「ま、いっか」「こんな感じ」で○つけたり×つけたりを繰り返し「できるように」なっていくのでしょうか。

膨大な単語量に圧倒され、「何をやっていいか、何からやっていいかわからない」はSOSの合図。生徒の学年学カタイミングによって対応・対策は異なるので解決方法に「一様性」はありません。相談されてくださいませ。

科目や単元、または「受験生のように“時期”」によってどうしても「人のちから」が必要な場合もあると考えるます。自主学習には限界があります、集中力・気合・環境・・・だけでは難しい時もあるでしょう。分からないことを解決し得点力を磨いてこそ成長です。短期間、または「期間限定」で「個別指導併用」をしている生徒も複数おります。お困りの方は相談されてみてください。